第 2014-43 号

恵みと真理のニュース

2014 年 10 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

宗教人ではない私が数十年間を数学と科学に専念した結果と悟りを得て　「存在するしかない創造主　」という本を書いてみたら全ての事が神様の摂理と恵みでした。

私は幼いときから天を見ながら宇宙の神秘感にいつも考えていました。確かに宇宙と人が自然と作られたと思わなかったです。しかし、現実はこのような考えをいつもすることは出来ませんでした。学校の勉強と宿題で他のことは考えられる余裕がなかったです。私が学校に通う時には宿題をしないと鞭で打たれる事が普通でした。優等生でした私にもこの世が良く見えませんでした。
その当時、宇宙万物すべての真理を知るためには数学と科学たけに通脱すると出来ると思った時期でした。それで数学全ての分野である大数学、幾何学、解釈学、応用数学、科学の全ての分野である物理学、化学、生物学、地球科学、天体物理化学、宇宙科学の通学の研究を尽くしまた。言わば身体のすべての分野で医学専門家になるため挑戦しました。そのように目標を決めて努力してみたら学問の美しい面も発見しました。私達の身体のかく部分を分離すると美しいのはありません。しかし、すべての部分が秩序と調和した人の姿は美しいです。
芸術的です。すべての宇宙の真理を知るためにはすべてのことを包括する学問を知ることが今も変わりがない私の所見です。数学と化学がそのような学問であると私は考えます。すべての真理が聖書に書かれていると牧師の説教のような脈絡で理解になります。私が思うにも聖書はすべての数学と科学を集めたよりそれ以上の真理が書いてあるのは間違いありません。聖書もあるところだけは聖書の真理を全部理解できないのですべてを学ばなければなりません。
すべての学問に通達すべきだと考えた 30 歳になる時から数学すべての分野（大数学、幾何学、解釈学、位相数学、応用数学）と科学の全分野(物理学、化学、生命科学、地球科学、宇宙科学)の痛合研究に力を尽くしました。そうするうちにある日、もうこれ以上勉強する事がないと思った日もありました。ソウル大学の自然科学大学の科学記述最高過程の授業を通して韓国の最高の学者達と考えを交流しながら創造主は必ず存在するという確信を得ました。
そして、“存在するしかない創造主”本を書き始め 2014 年 7 月に約 600 ページの分量の本を出版しました。数学と科学は創造主がいらっしゃる事を証明する役をすることを私が数十年間数学と科学に力を尽くして達した結論です。
そのような理由で聖書で言う創造主である記録を知るため教会に足を踏み出して創造主は罪人を救うためその一人子イエスキリストを世に送ってくださった神様であることを悟りました。私は数学と科学を通して知った創造主であるイエスキリストに出会いました。これからも熱心に教会に通い牧師の説教に耳を傾けるようにします。そして私が勉強した数学と科学の知識を生かして救い主であり創造主である神様について話そうとします。

［信仰コラム］　神様がくださったありがたい命令たち

“もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば、このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。”（申命記，28:2）

神様の命令には概して約束が付加しています．その約束は人生たちが願って必要なことを満たすようにするものなどです．だから私たちは神様の命令が何なのか分かってこれを実践することを大きい楽しみにしなければなりません．私たち心に刻んで思いながら実践しなければならない神様の命令の三種類をよく見ます．

第一は，“信じなさい”です．
神様は私たちの幸せのために私たちが信じなければならない対象と約束をくださいました．そしてこれを信じる者等に不思議で驚くべきな結果をください．信じる者にくださる一番貴重で大きい幸せは救いを得るのです．誰でもイエスキリストを信じれば永生と救いを得ることになります．それだけではなく神様は私たちが信じれば得て経験することができる幾多の約束たちをくださいました．このような約束は信じなさいとくださったお言葉です．神様のあがないの恵みと口約束に基づいて肯定的で所望的で楽観的な信仰を持てばその信仰のどおりなるでしょう．

二番目は，“求めなさい”です．
私たち人生が神様に何を下さいと要求することができるということは感謝して嬉しい事です．私たちが神様に何でも求めることができる根拠と理由は三種類です．第一，神様の子になったからです．第二，神様が約束したお言葉たちがあるからです．聖書には幾多の約束があります．あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、約束，聖霊の恩賜を得るようになる約束，聖霊の実を結ぶようになる約束があります．第三，イエスキリストの名前で求めればくださると言ったからです．神様にいくらしばしば求めて多くのことを求めても度が外れないです．ただ宴心で求めることは神様が回答しないです．切に求めることは聖徒の義務で特権である回答することは神様が自ら取った義務です．神様は善良で信実なさいます．全能です．だから求める者に最善の回答を与えます．

三番目は，“言いなさい”です．
１２人の斥候たちは 40 日間ガナアン地をすみずみまで探って帰って来てイスラエル民たちに報告しました．その中に絶対多数の十人が非常に否定的な報告をしました．その言葉を聞いて民たちが音を高めて叫びながら泣きわめいてリーダーモセとアロンを恨みました．しかしヨシュアとガレブは “これは果して乳と蜂蜜が流れる地だとただエホバを逆わないでまたその地民を恐れないで彼らはうちのご飯だから，エホバは私たちと一緒にいると彼らを恐ろしくてないで．” その叫びました．十人と民たちの否定的で恨む言葉を神様が聞いてそのまま彼らに行いました．またヨシュアとガレブが言った言葉を聞いてそのまま彼らに行いました．神様の品性と神様の口約束に根拠して言ってください．神様の耳に聞こえるようにしてください．神様が時によって助ける恵みをくださって面倒を見るでしょう．

神様の品性と口約束に基づいて信仰を持てば主があなたがたの信仰のどおりなりなさいと宣布します．神様の品性とその約束したお言葉に基づいて求めれば ‘そんなにすればくださろう．’ おっしゃったお言葉が応じるようになるでしょう．神様の品性とその約束したお言葉に頼って言えば神様が聞いてその聞いたとおり皆さんに成してくださるでしょう．“神様のお言葉を信じて従順すればこのすべての福があなたがたに臨んであなたに及びます．” おっしゃったお言葉が皆さんの体験になって証になるように願いします．

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

変更することができない重大な原則

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

根本になる法則を原則だと言います．自然界には法則が存在します．自然法則は自然にできたのではないです．創造主の神様が作りました．聖書はこんなのお言葉で始まります．**“はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は「光あれ」と言われた。すると光があった。神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。”（創世記，1:1～5）**．
創造の四番目の日に神様がおっしゃるのを**“神はまた言われた、「天のおおぞらに光があって昼と夜とを分け、しるしのため、季節のため、日のため、年のためになり、”（創世記1:14）**したらそのままになりました．神様が自然法則をくださったのが啓示されたお言葉です．自然法則にも根本になる原則があります．その原則は万物の存在原因と目的にあたるのです．この原則は人にも適用されます．今日の本文にその原則が啓示されています．**“万物がすべてそれによって彼のために創造されたし”**と言いました．この原則をすべての人生たちが分からなければなりません．そして自分の生に適用しなければなりません．今日は本文に啓示された二つの大原則を詳らかによく見ます．

第一原則は、キリストによる生活です．

“万物がすべて 彼によって” 創造されたと言いました．ここに言及された “彼”はイエスキリストを示します．彼は父の神様との関係で“彼の愛の息子”と呼ばれて
“その息子にあって私たちがあがないすなわち罪のゆるしを得た”と言いました．**“万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。”（コロサイ人への手紙 1:16,17）**しました．キリストによって天地万物が存在するようになりました．そして **“わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。”（コロサイ人への手紙1:14）**したからイエスキリスト外には救世主がいないです．キリストによる生活と言うのはイエスキリストを離れては何もできないということが分かってここに適当に生きて行くことを言います．イエスキリストがおっしゃるのを**“わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。”（ヨハネによる福音書 15:5）**しました．イエスキリストによる生活を三種類で分けてよく見ます．

1），イエスキリストの恵みの中で住むことを意味します．
イエスキリストの恵みは非常に多様で豊かです．その中で私たちの人生たちに最大のパーセントを占めることはあがないの恵みです．人間の霊的な状態は惨めです．不義して不正です．盗んで殺して滅亡させる悪魔の支配の下にあります．ついには地獄の刑罰に処するようになります．だから世の中で財物と地位と名誉を持ったと言っても事実はそのすべてのものが虚しくなる日がすぐ近付きます．このような人生がイエスキリストを信じれば罪のゆるしを得て永生を得て神様の子になって天国市民になります．霊的に極めて富裕になります．これがイエスキリストの恵みです．コリント人への第二の手紙,8 章9 節に記録されるのを **“あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。”** と言いました．

2），イエスキリストによる生活はキリストの愛の中で住むことを意味します．
愛はこの世の中で人が生存して行くのに一番重要なことの中に一つです．友達の愛，兄弟の愛，夫婦の愛，親と子の間の愛はまことに貴くて偉いのです．しかしこのような人間の愛は時間と空間の制限を受けたりまた易しく壊れて歳月が流れによって色焼けされてしまったりします．一方に永遠に変わらない限りなく深くて広くて高い愛があります．その愛はすなわちイエスキリストの愛です．誰でもイエスキリストの愛に自分をいちめん任せて生きて行けば神様の慰労と能力と供給を受けるようになります．人生を明るくて肯定的な姿勢に生きて行くことができます．パウロ使徒はエペソ人への教会に送る手紙にこんなに記録しました．**“また、信仰によって、キリストがあなたがたの心のうちに住み、あなたがたが愛に根ざし愛を基として生活することにより、すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ、また人知をはるかに越えたキリストの愛を知って、神に満ちているもののすべてをもって、あなたがたが満たされるようにと祈る。”（エペソ人への手紙 3:17～19）**．神様の愛に根付いてその愛を悟りながら生きて行けば神様の能力で充満する生を暮すようになります．

3），イエスキリストによる生活はキリストのお言葉の中で住むことを意味します．
人間の哲学と思想は歳月が流れて時代が変わるによって変化するがキリストのお言葉は永遠になるように変わらないです．**“天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。”（マタイによる福音書，24:35）**とイエスキリストがおっしゃいました．聖書に記録されたお言葉を信じて従順すれば神様が彼の生を引き受けて主観します．

二番目原則は、イエスキリストのために暮すのです．

本文に “万物がすべて彼のために創造された”と記録されました．イエスキリストのために暮すことは創造の根本原理に順応するのです．キリストのために暮すことに対して具体的によく見ます．

1），イエスキリストのための生活は神様を礼拝しながら暮すことを意味します．
人は神様を礼拝しながら暮すように創造されました．ところで人がその本分を忘却して神様と同じになろうとする不遜な行為をやらかしてしまいました．神様が食べではいけないと命じた禁断の善悪を知る木の実でサタンの誘惑に陥って取って食べてしまいました．その日以後に堕落した人間は神本主義の生から人本主義の生ですべての事を計画して行っています．創世記11 章に見ると当時の人々が力を合わせてシナルにバーベル城を積み始めました．彼らは自分たちの名前を出して誇示するためにバーベル城を積みました．だから神様が彼らの企図を無駄になるようにしました．神様の光栄を現わさない人間のどんな業績も結局はバーベル城のような運命になってしまうでしょう．クリスチャンは何の事をしようが神様の光栄が優先的な行動基準にならなければなりません．パウロ使徒は**“だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。”（コリント人への第一の手紙，10:31）**と言いました．神様の光栄を現わす核心は礼拝です．皆さんが生きて行く動機と目的が神様を礼拝することである時に真の価値と意味を持つようになります．

2），イエスキリストのための生活は神様の恵みと愛を伝えながら暮すことを意味します．
この世の中で一番美しくて珍しい消息はイエスキリストが罪人を救いしようと世の中へいらっしゃって十字架に釘付けられてあがないの死を死んで葬られてから三日ぶりに墓で復活して昇天なさったという消息です．この消息を信じる人は罪を赦しを受けて永生を得て神様の子になって天国市民になります．イエス様は先に信じた者等の口を通じてこの福音が広く伝えるのを願います．
そうだから神様のために暮す人は福音を伝えなければなりません．ローマ人への手紙,10 章にこんなに記録されました．**“すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる。なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。 なぜなら、「主の御名を呼び求める者は、すべて救われる」とあるからである。しかし、信じたことのない者を、どうして呼び求めることがあろうか。聞いたことのない者を、どうして信じることがあろうか。宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわされなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。ああ、麗しいかな、良きおとずれを告げる者の足は」と書いてあるとおりである。”（ローマ人への手紙，10:9,10,13～15）**．
福音傳道がお上手になるためには三種類の要件を取り揃えなければなりません．先に，霊魂の救いのための燃える願いがなければなりません．次は，切実で持続的な祈祷がなければなりません．そして献身と手数がなければなりません．神様は聖なる偉い願いを持った者のために権能の手を突き出して奇蹟を施します．

キリストに “よって” 暮すこととキリストの“ために” 暮すことは神様の創造の原理に適当に行うのです．このような原則が分かってその原則を適用する人は賢くて恵まれた人です．“私はキリストによって暮して，キリストのために暮します．私にはこれが変更することができない生の原則です．” これが皆さんの魂から湧き出る証で告白になるように願いします．